



# BOOK on BOOK

2012年12月17日発売

株式会社テント（所在地：東京都目黒区）は

初めての自社オリジナル商品として **BOOK on BOOK** を発売いたします。

BOOK on BOOK は、好きな本の好きなページを開いたままに

するために作られた、アクリル製の透明な本です。

使い方はシンプル、お手元にある本のお気に入りのページを開き

その上に BOOK on BOOK を乗せるだけ。

5mm の厚いアクリルの重さで本を押さえながら

非常に高い透明度のアクリル越しに、本の内容を読む事ができます。

写真集やアートブックを開いてインテリアに飾ったり

お茶とお菓子を楽しみながら読書したり

外に持ち出して景色を読んだり。

様々なシチュエーションでお楽しみいただけます。



price : ¥5,600- (税込み¥5,880-)

size : W210 × D185 × H20

material : acrylic resin



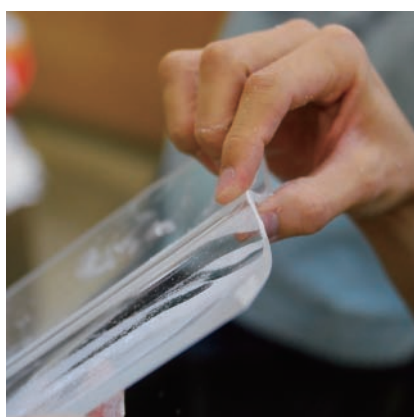
## 本が持つ「世界観」を引き立てるための道具

一冊の本とは、紙が束になっただけのものではありません。そこにあるグラフィックや写真、文章などが絶妙に編集された結果、独自の世界観を持つ1つのプロダクトとして成立しています。本を開くための道具としてはこれまでも、クリップ型のもの、書見台型のものなど色々な商品が発売されてきましたが、あまりにも実用性だけを重視し世界観をないがしろにしてきました。プロダクトとして完成された一冊の本を、より引き立てるための道具が欲しい。そんな思いから BOOK on BOOK は生まれました。



## 使わない時にも飾りたくなる佇まい

電子書籍が普及した現在、紙としての本が持つ意味合いは、以前とは違ったものになっています。本の中にある情報を消費するだけでなく、物質としての価値も味わう事ができる人こそ、現代における「本好き」と言えるのではないのでしょうか。そんな、本という存在自体を愛してやまない人々のために、開いた本という形状を徹底的に検証し、細部まで妥協なくこだわりぬいたカーブによって、実用性だけでなくオブジェとして飾っておいても満足いただける形状を実現しました。



## 静岡の工場職人によって1つ1つハンドメイド

デザイナーが最初の試作を作ったのが7年前。それから発売のために様々な工場を探し歩いたものの、非常に困難なため製造は不可能でした。しかし2012年、静岡のアクリルメーカー Vathtel 社による、数えきれないほどの試作検討によって、初めて製造が可能になりました。肉厚のアクリル板を1つ1つ職人の手作業によって加工し研磨することで、開いた本の形状を実現しています。

安心の Made in Shizuoka 品質。ぜひ手に取ってお確かめ頂きたいです。

お問い合わせ先 : 株式会社テント / [info@tent1000.com](mailto:info@tent1000.com)

TENT

TENTは2011年に治田将之と青木亮作の2人によって結成され活動を開始したクリエイティブユニット。テーブルウェア、家電、インテリア用品、家具、などのプロダクトデザインを中心にカタログ、パッケージ、CI、広告などのグラフィックや空間演出までコンセプトからのトータルなデザインを行っている。

所在地 : 東京都目黒区上目黒 1-18-3 shu-vill 208  
設立 : 2011年6月結成 10月法人化  
代表取締役 : 治田将之 青木亮作 (共同代表)  
URL : <http://tent1000.com>  
Email : [info@tent1000.com](mailto:info@tent1000.com)